

■ 採用・育成状況

- モンゴル人を2025年11月～12月で4名採用し、試験免除の1名を除く3名が3～5ヶ月で外免切替を完了した
- 1名はすでに独り立ちしており、4tトラックで長野県内の青果物の配送や1～3件の積み下ろしを行っている

2. 独り立ちまでの教育や取り組み内容

- 免許センターの書類審査にて母国での教習実績を確認されるため、事前に母国での教育実績のヒアリングを実施した
- 知識試験対策: 自動車教習所に依頼し、日本の基本的な交通ルールの座学授業を手配した(2～4回程度で合格)
- 実技試験対策: 隣接の教習所で外免切替用の教習を受講させた(4～5回程度で合格)
- 試験不合格時は教育担当者が教習所に赴き理由を確認後、社内勉強会で復習を徹底した
- 独り立ち後は、通常、物量に応じて配送コースが変動するが、外国人ドライバーについては安全性と業務の習熟を優先するため、固定のルート配送コースを担当している

3. 今後の採用計画

- 特定技能2号への移行をはじめとした制度改革の動向を注視するとともに、現在在籍している名の育成・定着状況を見極めながら、追加採用の実施について検討している

留学ビザを活用し 2年間の教育期間を確保

1. 留学ビザでの来日

- 留学後の採用を前提とし、特定技能資格や日本語検定の合格、運転経験があることを条件にインドネシア現地で面接を行っている
- 来日後2年間は留学ビザを活用して日本語学校に通い、その後特定活動ビザを取得する

2. 2年間の留学期間を利用した免許取得と教育

- 日本語学校に在学する2年間の間に、大型自動車免許を取得する計画である
- 日本語学校の空き時間を利用して自社のルールの教育や道路交通法などの教育を行っている
- 定着率向上のため、所長自らインドネシア語を学び母国語でのコミュニケーションも取ることで相手との関係を構築している

3. 費用と入社後の働き方

- 日本語学校の学費は全額会社で負担している
- 日本人従業員と同様の制度を適用し、大型自動車免許の取得費用も会社が負担している
- 1人当たりの費用は入学金を含めて120万円から200万円弱を見込んでいる
- 入社後は、特定技能として丸5年間自社で働いてもらうことを前提としている
- 配属先は、ルート配送メインの配属を想定している